



執行部 陣内 恒治

私は全港湾に加入するまで、沖縄がアメリカと日本政府から、「植民地的支配」を受けていたことなど、全く知りませんでした。

皆さんの多くの方々も、沖縄はエメラルドグリーンの海、紺碧の空というイメージで、観光に行かれていたと思います。事実、沖縄には毎年7百万人も観光客が訪れています。アジアを始めとする外国人の観光客も前年より62%も増加しています。こうした“観光資源”のため、都道府県別経済成長率も全国トップクラスです。

このようなイメージの一方で、沖縄では戦後70年間、土地を奪われ、米軍基地が存在し続けています。国道58号線には基地のフェンスが続いていますが、関心がなければ何も感じないと思います。米軍がいなくなれば、沖縄は経済破綻するという基地推進派もいます。しかし、戦後、米軍基地に依

存して働いてきた労働者も現在は人口の5%程度に減少しました。

そして、過去に基地を返還させた場所には、再開発で大型商業施設などができ、経済効果も高まり、就労者も増加しています。

沖縄は、基地ではなく観光で成長する地域なのです。

暑かった2015 平和行進

今年の平和行進には、全港湾66名をはじめ、全国一般13名、全日建連帯15名と造船機械労組が結集しましたが、初めての組合員も多かったようです。

1日目、全国各地から結集した1200人が、名護市瀬嵩で出発式を行っている最中、辺野古で基地建設阻止行動をしている船舶とカヌー隊が海から激励にきました。「がんばろう!」「諦めないぞ!」「共に戦おう!」と、熱いエール

交換を行いました。

その日の最終地点であるキャンプシュワブのゲート前にはすでに200人以上が座り込んでいて、行進部隊も共に座り込みました。

2日目は宜野湾市役所から海浜公園までの行進。恒例のことですが、沿道の人々から「頑張れ!」などの多くの声援があります。「共にたたかおう」と返すと、再度、「がんばりましょうね」と返ってきました。



3日目は戦跡を視察したのち、那覇市のセルラースタジアムで「戦後70年 止めよう辺野古新基地建設! 沖縄県民大会」に参加

しました。どれくらいの人が集まるか心配でしたが、強い日射しの中にもかかわらず、本土ではありえない3万5千人もの県民が結集しました。

集会の最後に翁長知事が沖縄弁で「沖縄人をないがしろにしてはいけない！」と声をあげると、み

んなが立ち上がり、手をつなぎ、高々と共鳴・共振しました。

このように、沖縄では県民がオール沖縄として一つになって集会を成功させています。本土でも、このような集会を始め、様々な形で連帯運動が必要です。

安倍内閣は、辺野古新基地建設

を強引に推し進めようとしていますが、かつてない沖縄県民の強い抵抗と、本土での連帯闘争によって、強引であればあるほど抵抗は強まり、運動は広がり、政権は窮地に追い込まれていきます。

私たちは、沖縄県民に連帯して共に闘おう！

2015沖縄平和行進

家族へ 友だちへ 伝える

大正埠頭分会 渡 辺 守

5月14日から18日までの4泊5日で沖縄平和行進に参加しました。

初日は全港湾、全国一般の人らとの顔合わせから始まり、2日目、3日目は長距離の行進でした。

沖縄の日射しは強くて、肌が痛いくらいで、とにかく暑かった。大浦湾を見ながらの行進で、海が綺麗で思わず飛び込みたくなるほどでした。しかし、その美しい海を破壊して、米軍と日本政府は、強引に新基地を造ろうとしているのです。

へり基地反対協のカヌー隊が海上保安庁の警備艇と激突していま

した。「カヌー隊頑張れー」「海保は帰れー」などの声が飛び交う



▲ スタジアムからあふれんばかりの人

中、デモ隊は一気に米軍基地まで到達し、そのまま座り込みました。

う。全く無関心の人もいます。

私は、行進をする中で、沖縄の基地を見て、基地はいらんと強く思いました。沖縄だけでなく日本全国の問題でもあったと感じました。

実際現地に行って学んだ事を大阪に帰って、まずは家族や友人に伝え、この問題を少しでも全国にひろげていけたらいいと思います。そしていつか沖縄の人だけでなく、全国から声をあげて、基地を無くし、武器の無い平和な国に



沖縄は自分たちの問題

埠頭ターミナル分会 市川 佳介

沖縄平和行進に参加するにあたって、色々勉強をしようという意気込みで参加しました。しかし、実際に沖縄に行ってみると、自身の沖縄問題に対する知識不足を痛感させられました。

なにより、現地の人たちの辺野古新基地建設に対する熱い反対の気持ちや強い行動などに、正直、圧倒されました。自分の中では、基地は沖縄の問題であり、その解決の手伝いに行くようなものと思って参加していました。

しかし、現地の運動に触れると、これは日本全土の問題なのだと感じ始めました。

1日目は、名護市瀬^せ高の浜からのスタートでした。行進中に見える綺麗な海や山など、沖縄の自然に触れて、ここに基地はいらない

子供までもこんなことをしていて沖縄はすごいなと思ったのですが、考えてみると子供がすごいのでは



なく、子供にまでも行動をさせなければならぬような国づくりをしている政府を変えなくてはいいないと思いました。

2日目は、普天間基地の周りを歩きました。僕もシュプレヒコールをしましたが、これで基地反対

2015沖縄平和行進

では感じることの出来ない、気持ちよさをもらい、力強く歩くことが出来ました。

行進後、ひめゆりの塔の見学では、大量の女子中学生の遺影を見て、戦争は本当に繰り返してはいけない、そして本当に怖いものだ

と感じさせられました。

3日目は、戦没者慰霊碑の視察後、県民大会に参加しました。集会には3万5千人という県民が集い、参加者全員が声を上げることで、まさに、セルラースタジアムが一つになり、圧倒されました。家族連れもたくさんおり、家族でこの問題について行動を起こすことに、自分や大阪での集会などと比較してとても考えさせられました。それだけ、基地問題は沖縄の人々にとって切実な問題なのだと思います。

平和行進に参加して、沖縄の問題は日本全体の問題だと認識が変わりました。国の政治がおかしいと思ったら、皆が立ち上がっておかしいと言う、沖縄の人々の力強さに感銘を受けました。

この体験を周りの人に伝えていくことから始めて、自分も闘っていきたいと思います。



と強く思いました。キャンプシュワブの座り込みにも参加しました。多くの人がそこに座り込んでいましたが、まだ小さな子供も大きな声を張り上げていました。最初は、

の気持ちが強まりました。

行進中には、道行く車がクラクションを鳴らす、歩道の人たちから「ありがとう」とか「頑張って」などの声援を受け、本土でのデモ

教 宣 部 フィールドワーク

大正リトル沖縄から学ぶ

5月23日(土)午前、講師である
上地武牧師のおられる大正めぐみ
教会(平尾)に、全港湾の組員



及び家族の全15名が集まりました。

自己紹介等の後、上地牧師の薦
めで、何年か前にNHKで放送さ
れた、大正区を紹介している30分
程度のビデオを鑑賞しました。

R43の南側に沖縄人が多い

大正区には全港湾の職場も多く、
組員には居住者も多いのではな
いでしょうか?地図で大正を見る
とわかりますが、「陸の孤島」と
も称されるそうです。事実、周囲
を海と3つの川で囲まれていて、
その川にある橋は、貨物船を通す
ため通常より高く作られていて、
人が通るには困難で、渡し船が各
所にあることから、このように言
われるようになったそうです。

意外だったのは、大正区のやや
北側を、東西に横断する国道43号
線を境に、北側は大和人(ヤマト

ンチュ)、南側は沖縄人(ウチナ
ンチュ)に、比較的分かれている
話や、各所の渡し船の運行は交通
局と思われがちですが、あくまで
“道路”という扱いから、建設
局だそうです。

上地牧師は、2000年に関東から
大正めぐみ教会に牧師として赴任
し、今年で15年が経つそうです。
ご存じのとおり大正区は“リトル
沖縄”とも呼ばれているように沖
縄出身者が多いのですが、朝鮮半
島出身者も多いそうです。沖縄の
上地さんの生家だった場所は、現
在、米軍基地の敷地になってしま
い、軍用地主でもあるとのことだ
した。

沖縄の心をつなぐ

フィールドワークはまず、徒歩
で平尾小学校へ。ここでエイサー
(沖縄の踊り)の練習を見学しま
した。下は3歳児から上は60歳後
半くらいの20数人の人たちが、踊
りを披露してくれました。このエ
イサー教室は長年、続けられてい
て、子どもやちにエイサーを通し
て沖縄の文化を大切にして、沖縄
の誇りをもってもらいたいという
思いで始まったということです。

エイサー見学後は、沖縄料理店
で昼食をとり、上地さん手製の資
料を持って、2車に分乗して行動
しました。

最初に三軒家公園>尻無川沿>
尻無川水門>泉尾の市営住宅>北
村テニスコート周辺>昭和山と周



りました。

各所に、それぞれの歴史がある
ことを知りました。なかでも1970
年の大阪万博の開催に伴い、この
大正でも弱い者から家・土地を奪
い、集合住宅地へ移らせたという
事実。そして、その中でも棟一つ
違えば、家の間取りに差をつけたり、
塗り替えなどのメンテナンス
で差をつける等をして、差別を作っ
て争わせることで、官に反発する
力を生ませないようにしたことな
どのお話は、ありそうなことだと思
いました。

ほぼ1日がかりの大正フィール
ドワークでしたが、好天で快く過
ごせたこともあり、充実した形で
これまで知らなかった大正区の歴
史を学ぶことができ、大変勉強に
なりました。

上地さん、紙上を借りてお礼申
し上げます。ありがとうございます。
(教宣・日高)

大阪支部ホームページ開設!

<http://www.zenkowan-osk.org/>

